

# ぎふこくご

号外 平成二十二年八月十日 発行

## 夢を語り誇りに結ぶ東濃大会

会長 二村 一洋

六月二十二日土曜日、平成二十二年第一回代議員会および

の推進を図る良い機会になりました。

研究総会を岐阜市の市橋コミュニティセンターで開催しました。代議員会では、瑞浪市で開催される「県中学校国語科研究会東濃地区大会」の一次案内が紹介され、注目を集めました。

東濃の先生方は、東濃地区大会実行委員長渡辺敏博瑞陵中学校長を中心に、平成十九年度より地道な実践を丁寧積み重ねてきました。その結果、大会実施にあたり、授業公開の仕方や大会運営に関わりいくつかの試みを工夫することができました。その一端を紹介します。

本年度は、新指導要領の全面実施に向けた移行措置2年目にあたります。小学校では教科書採択の年でもあります。この時期に県大会を開催することは、大きな意義があります。

また、東濃に県内各地より国語人が集結して国語科教育について語り合うことは、県中国研

の推進を図る良い機会になりました。東濃の先生方は、東濃地区大会実行委員長渡辺敏博瑞陵中学校長を中心に、平成十九年度より地道な実践を丁寧積み重ねてきました。その結果、大会実施にあたり、授業公開の仕方や大会運営に関わりいくつかの試みを工夫することができました。その一端を紹介します。

ウ 二つの授業で「地域に残る文芸（古典）」を活用した学習を公開します。

エ 各分科会では、東濃各市と県研究部の実践発表が行われます。

このように、東濃地区大会に向け、粘り強く取り組んでいる東濃の国語科を中心とした先生方と関係者の皆様に感謝の意を表したいと思います。

東濃地区大会は、県中国研が日頃の実践を振り返り、国語指導を通して夢を語り誇りに結ぶ絶好の機会です。この大会で、中核として活躍を期待されているのは、県内各地区の国語科実践のリーダーの代議員と各研究部員の先生方です。代議員の先生方には、大会への積極的な参加の呼びかけをお願いします。研究部員の先生方には、東濃の国語科教師と一体になった授業づくりと実践のまとめをお願いします。

します。

県内各地の国語科教師の力を集結し、東濃大会をみんなで応援しようではありませんか。

します。

この大会は、十八年度に実施した岐阜大会以来の県大会ということになりましたが、その当時、私は「読むこと部長」を務めていました。もちろん前年度から授業構想を練ったり、提案する資料の作成などは行ったりしていましたが、具体的なものとして絞り込んでいったのは、その年の6月以降だったと記憶しています。今年も既に行われていますが、当時も同様に会場校での授業参観、公開授業の指導案検討から作成、分科会の発表内容検討からプレゼンテーション

## 東濃大会に向けて

主務 永井 伸幸

十月二十七日に岐阜県中学校国語研究会東濃大会を実施します。

この大会は、十八年度に実施した岐阜大会以来の県大会ということになりましたが、その当時、私は「読むこと部長」を務めていました。もちろん前年度から授業構想を練ったり、提案する資料の作成などは行ったりしていましたが、具体的なものとして絞り込んでいったのは、その年の6月以降だったと記憶しています。今年も既に行われていますが、当時も同様に会場校での授業参観、公開授業の指導案検討から作成、分科会の発表内容検討からプレゼンテーション

づくりなどを行いました。展開案ができてからは、その授業展開に習って、部員が勤務校で実際に授業を行い、実践を通して感じたことを授業者に伝えたり、ビデオカメラで録画して展開の確認などを行ったりもしました。また、大会前日の夜には、会場校で模擬授業も行いました。前日の夜になって模擬授業をするといったことは、決して褒められたことではないかと思いますが、部員が三々五々集まって、授業の確認をしているという姿を嬉しく思っていたこともはっきり覚えていています。

岐阜大会を前に、部長としては、授業や研究の方向性を確かなものにするためにも部会の研究部員さんや授業者の方、発表者の方が、国語の授業を通して、自分の実践を通して結びついてほしい、そんなことを願っていました。例えば、(不定期で行っているのですが)部会が終わった後も自然に集まって

喫茶店で国語に関わる話をしたり、部会とは別に互いに電話で連絡を取り合い、実践する中で悩みを相談したりする、そんな姿が生まれたらいいなと思っていました。が、岐阜大会に向かう中で、実際にそうした姿が見られるようにもなりました。それは何より、ひとりひとりの「みんなで授業、発表をつくるんだ」という思いがあったからでしょう。そうした思いがあったからこそ、授業者、発表者をひとりにするのではなく、地区、部会が一体となった大会になったと考えています。

今年の東濃大会も岐阜大会に勝るとも劣らない勢いで、東濃地区の先生方は大会に向かってみえます。一昨年度から渡辺敏博校長先生を中心に東濃地区の先生方が集い、授業の在り方、大会の行い方を検討されてきました。そして、それは地域教材を活用した授業の発表、同一校(瑞浪中学校)で瑞浪市の全中

学校の授業を公開するという形にもなっていて表れています。

一学期も研究部の部長の多くが瑞浪市各校の授業を参観しましたが、今後さらに県研究部も東濃の熱さに負けることなく、実践に参加し「みんなで授業、発表をつくる」意気込みがあります。授業や発表内容の検討、確認も最終段階に入ってきてますが、県中研が一体となって東濃大会に向かいました。

### 岐阜県中国研会員の

皆様へ

研究総括 富田泰仁

### 平成二十二年度研究主題

### 明日に生きる

### 言語能力の育成

「確かな言葉の力」と「豊かな言語感覚」を鍛え、磨きあう国語教室の創造

十月二十七日(水)に、第二十回岐阜県中学校国語科研究部

会県大会が東濃地区で瑞浪中学校で開催されます。前述のテーマを基に「岐阜県の国語の今」を考える機会となればと考えています。ぜひ一人でも多くの先生方に参観していただきたいと思っています。

六月。市橋コミュニティセンターで行われた研究会で次のようなことを話しました。

### 岐阜県の国語の授業とは

- ①生徒が楽しくて、もつと学びたくなる授業である。
- ②生徒が自ら「確かな言葉の力」と「豊かな言語感覚」を鍛え、磨きあっている授業である。
- ③その授業の連続が「明日に生きる言語能力の育成」につながる。

### 「確かな言葉の力」とは

- ・ 基礎的・基本的な知識や技能的に理解する力
- ・ 適切に表現する力

・論理的に思考する力

## 「豊かな言語感覚」とは

- ・五つの言語意識に基づいた表現（語、文、文章のすべてを含む）に対する、正誤・適否
- ・美醜の感覚

## 「鍛え、磨きあう国語教室」とは

- ・教師の指導と意図性と計画性をもった営みであり、生徒一人ひとりの見方や考え方を広げ深めたり、対話する力を高めたりすることのできる教室

この話をした時、私自身国語の授業について思い出すことがあります。

中学生の頃、私は授業の中で国語の授業が好きな授業の一つでした。それは今思うに、「指導してくださった先生の授業がおもしろかったこと」と、「自分なりに国語の授業のおもしろ

さ」を感じていたからではないかと思っっています。その理由をいくつか挙げてみます。

- ・自分の意見を自由に言っただけでいい雰囲気は授業の中にあつたこと。（先生はどんな意見であつても授業の中で位置付けたり価値付けたりしてくれていたこと）

・自分の意見が正解しているかどうかを心配しながら授業を受けなくてもよかったこと。（読み方や感じ方は人それぞれある。自分の意見の自信のなさを先生は取り除いてくれていたこと）

- ・必ず授業の最後に「言葉」にかえてくるので、授業の中で「言葉って大切なんだなあ」という気持ちになることができたこと。
- ・自分の思っていたことだけが正解ではなく、いろんな読み方や感じ方があるのだと言うことを知ることができたこと。

これらのことは今なお私が生徒に授業を行う上での礎となつている考え方であり、こういつた授業の連続によつて私なりに「国語の授業のおもしろさ」を感じていたのではないかと思っ

ています。よく「楽しい授業」という言葉が使われます。教師なら誰もがめざしている一つの形であるし、大切なことです。しかし、前述したように、一人ひとりの教師に「伝えたい国語の楽しさや魅力」というものが存在するはずで、説明文を読むことからもかもしれないし、古典かもしれない。スピーチやプレゼンかもしれない。漢字や語彙かもしれない。「言葉を通して生徒の知的好奇心が溢れ、磨かれることと、楽しさを実感する授業」こそが、単に「楽しい授業」を越え、自ら学ぶような授業になつていくと思います。

東濃大会でも七つの授業が公

開されますが、授業者の先生方から「伝えたい国語の楽しさや魅力」を感じ、共に学んでいく機会となるとよいと思っ

ています。またこの東濃大会までの四年間、前述の研究主題の基、次のような研究を行ってきました。

### ①明日に生きる言語能力の具体化一覧表の作成

新学習指導要領への移行を見据え、各領域の指導事項をさらに詳しくした「中学校三年間です身に付けさせたい力」として形にしました。これにより授業の中で生徒にどんな力をつけさせたいのかがより具体的になります。

### ②教材分析図の活用

各領域の部会において「その領域の指導を有効にする教材分析図の作成」を進めてきました。どんな言葉から、どんな文章からどんなことを読み取らせたり

書かせたりするのかを分析図を通して明らかにすることで、授業者の意図性や各教材の指導の参考になることをめざしてきました。

### ③実生活、実社会に生きる題材 や言語活動の開発

東濃大会の需要では「地域教材」を扱った授業公開があります。学んでいる教材に興味をもたせると共に、学んだことがこのように役に立つのだという「力の高まりを実感させる授業づくり」をめざしてきました。

### ④教科の本質に基づいた学習集団のあり方

単位時間の授業の中で、生徒が言葉を通して「鍛え、磨きあう」過程が位置付くようにしてきました。教師が与えるのではなく「さらに課題に対して考えてみたい」と思わせる課題設定や発問を考えてきました。

### ⑤中国研から「指導案のモデル」を提案する

東濃大会の授業公開にあたり、研究部では「中国研から指導案の書き方のモデル」を提案します。これは「ぎふこくご」のホームページに掲載されていきまじ、この形を全県下に広めていきたいと考えています。ぜひ参考にしていただけるとよいかと思えます。

今現在、東濃地区の先生方は当日の授業をイメージしながら、連日検討会を行ってみえます。すべては「生徒が国語を通して力を伸ばしていく姿を具体的に示したい」という志の表れに他なりません。研究部としましても授業者の先生方に少しでも力になれるよう、授業検討会や東濃地区で行われている授業研究会に積極的に参加しています。

東濃大会の実行委員長である渡辺敏博校長先生や西尾新先生をはじめとして、本当に東濃地

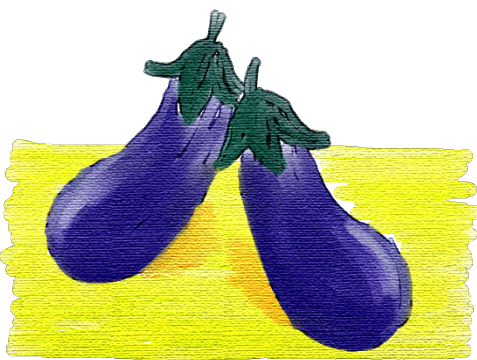
区の先生方の熱意は頭が下がるばかりです。研究部としても東濃地区の先生方との連携を密にしながら、当日の授業や大会運営が実りあるものになるよう、全力で取り組んでいきたいと思っています。

ただ、忘れてはいけな大切なことがあります。それは「岐阜県の全ての国語の教師のご協力で、中国研は成り立っている」ということです。

今年度も各郡市で教科の研究会が開かれてきています。その中どの郡市でも「明日に生きる言語能力の育成」という中国研の研究主題を受けて研究を進めてくださっています。その中で部長を務めてくださっている先生方が、中国研の各郡市の代議員として年二回の中国研全体会に参加してください。つまり、中国研の研究主題を通して「岐阜県すべての国語教師がつながること」ができています。私たち一人ひとりが、各

学校の国語科が、各郡市の教科研が「明日に生きる言語能力の育成」を具体化する実践を積み重ねることで、岐阜県の国語が日々進歩していくのだと思います。

その一つの集大成が今年、東濃大会という形となるのです。私達が共有している「明日に生きる言語能力の育成」の具現のために、一人ひとりが実践を重ね、東濃大会を支え、当日は一人でも多くの方で参観をさせていただきます。よろしくお願い致します。



平成二十二年 度 県中国研 代議員名簿

|          |          |          |          |          |          |          |                |          |          |          |          |          |          |          |      |
|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|------|
| 15       | 14       | 13       | 12       | 11       | 10       | 9        | 8              | 7        | 6        | 5        | 4        | 3        | 2        | 1        | 番    |
| 関市       | 掛斐郡      | 安八郡      | 不破郡      | 養老郡      | 海津市      | 大垣市      | 本巣郡            | 羽島郡      | 本巣市      | 瑞穂市      | 山県市      | 各務原市     | 羽島市      | 岐阜市      | 郡市名  |
| 屋久<br>真也 | 木村<br>英器 | 佐藤<br>善保 | 高木<br>規子 | 衣斐<br>将士 | 佐々木<br>優 | 高橋<br>篤  | (本巣市の代議員が兼務する) | 永屋<br>昌克 | 不破<br>修  | 高田<br>靖子 | 小森<br>一孝 | 杉山<br>一博 | 川村<br>宗生 | 中島<br>英人 | 氏名   |
| 桜ヶ丘中     | 池田中      | 登龍中      | 今須中      | 高田中      | 南濃中      | 星和中      |                | 笠松中      | 糸貫中      | 巣南中      | 高富中      | 那加中      | 羽島中      | 青山中      | 在勤校名 |
| 30       | 29       | 28       | 27       | 26       | 25       | 24       | 23             | 22       | 21       | 20       | 19       | 18       | 17       | 16       | 番    |
| 大野郡      | 下呂市      | 飛騨市      | 高山市      | 中津川市     | 恵那市      | 瑞浪市      | 土岐市            | 多治見市     | 可児郡      | 加茂郡      | 可児市      | 美濃加茂市    | 郡上市      | 美濃市      | 郡市名  |
| 野島<br>将也 | 熊崎<br>智文 | 中島<br>直子 | 大溝<br>淳司 | 梶屋<br>明広 | 小島光太郎    | 清水<br>芳樹 | 加納<br>玲子       | 山口<br>直子 | 小林<br>聖子 | 佐藤<br>潔明 | 田口<br>宏  | 千賀なつき    | 福手<br>真  | 井上<br>宏文 | 氏名   |
| 白川中      | 金山中      | 神岡中      | 宮中       | 第一中      | 恵那西中     | 陶中       | 西陵中            | 小泉中      | 向陽中      | 東白川中     | 蘇南中      | 西中       | 白鳥中      | 美濃中      | 在勤校名 |

平成二十二年 度 県中国研 本部役員・研究部員名簿

会長 二村 一洋 羽島市立中央中学校  
 副会長(岐阜) 河口洋二郎 岐阜市立長森中学校  
 副会長(西濃) 後藤伊都子 津市市立平田中学校  
 副会長(美濃) 山田 照義 郡上市立西和良中学校  
 副会長(可茂) 井上 光彦 御嵩町立上之郷中学校  
 副会長(東濃) 渡辺 敏博 瑞浪市立瑞陵中学校  
 副会長(飛騨) 水邊 義和 飛騨市立河合中学校  
 評議員 西田 拓郎 大垣市立西中学校  
 会計監査 香田 静夫 大野町立大野中学校  
 会計監査 村山 邦博 岐阜市立青山中学校

【事務局】

主務者 永井 伸幸 郡上市立大和中学校  
 会計部長 中島 英人 岐阜市立青山中学校  
 総務部長 加知 昌彦 多治見市立陶都中学校  
 広報部長 曾我部 領史 本巢市立本巢中学校  
 広報部長 井深 誠 岐阜大学教育学部附属中学校  
 広報部長 松永健一郎 岐阜大学教育学部附属中学校  
 情報部長 遠山 健二 岐阜大学教育学部附属中学校  
 情報部長 岸 浩道 岐阜市立境川中学校  
 情報部長 伊藤 雄樹 岐阜市立加納中学校  
 情報部長 豊田 有美 北方町立北方中学校  
 情報部長 西門 純 岐阜市立加納中学校



研究 総括 富田 泰仁 大垣市立星和中学校  
 副総括 富山 哲成 岐阜市立長良中学校  
 副総括 西尾 新 土岐市立泉中学校  
 話す聞く部長 布施 力 岐阜市立陽南中学校  
 話す聞く部長 高橋 直浩 岐阜市立岐北中学校  
 読む部長 長谷川 圭奈 大垣市立興文中学校  
 言語事項部長 内田 誠司 本巢市立真正中学校

話す聞く部員

山口政有(東長良中) 荒井貴行(陽南中) 安藤雅哉(瑞陵中)  
 三浦裕恵(蘇南中) 塚本陽治(大垣西部中) 高橋篤(星和中)  
 加納玲子(西陵中) 松原敦也(坂本中) 梶屋明広(中津川第一中)  
 辻美里(釜戸中) 野々村真理子(岩野田中)

書くこと部員

伊藤妙子(長良中) 高橋友之(東長良中) 加藤久美子(稲羽中)  
 井上宏文(美濃中) 吉川由美(平和中) 細江隆一(駄知中)  
 今井則雄(青山中) 加藤明子(平和中) 高橋かおり(稲津中)  
 五島未希(加納中)

読むこと部員

上村光一(東長良中) 平野栄子(島中) 丹羽宏樹(青山中)  
 酒向由美子(蘇原中) 山口明美(陽南中) 河田剛延(穂積中)  
 愛知慶介(古川中) 渡辺孝充(長良中) 小島京子(羽島中央中)  
 水野寛大(瑞浪中) 岩島哲也(瑞浪) 清水芳樹(陶中)  
 中島英人(青山中) 小島光太郎(恵那西中)

言語事項部員

深尾寛(長良中) 関雅俊(岐阜西中) 加藤寿志(赤坂中)  
 吉永康昭(東長良中) 三品美里(泉中) 伊藤瞳(南ヶ丘中)  
 中山英三(泉中) 中島芽衣子(日吉中)